

**団体名** 日立のぞみ会 (下松市)

代表者名	永田 久則	団体の目的 ・子ども達が理科の授業や実験、ものづくりに興味を持ち、将来の選択の幅を広げるための支援をする ・下松の歴史産業遺産や自然観察のできる自然森林公園、ハイキングのできる憩いの場を整備する
構成員数	183人	
設立	H23年2月	
問い合わせ先	☎0833-45-2053 (マイテク周南)	

**事業名** 子供の健全育成**事業の目的**

- ・子ども達から理科離れの現象が見られるため、小学生の頃から理科の授業や実験に興味を持ってものづくりの面白さを体験することで理科好きを育成する
- ・小学校で「プログラミング」が必修となるため、ものづくりやプログラミングの対応支援の人材を育成し、子ども達を支援・育成する
- ・市内から最も近い茶臼山・大谷溪谷を整備・開発して自然公園として市民の憩いの場とする

**事業の内容**

- ①親子ものづくり教室と工場見学  
日にち：8月5日(土)、12月23日(土・祝) 場所：ほしらんどくだまつ(下松市)  
内容：ものづくり教室と日立製作所笠戸事業所の新幹線電車作りの過程を見学
- ②「スクラッチ」のプログラミング研修会  
日にち：7月5日(水)、11月5日(日) 場所：ほしらんどくだまつ(下松市)  
内容：会員や小学校教員等を対象に研修会を実施
- ③茶臼山・大谷溪谷の整備活動  
年間4回、一般市民にも呼びかけて草刈や樹木の伐採を実施

**事業の成果**

- ・ものづくり教室&工場見学は口コミで評判が広がり、参加者が年々増加している。教室ではカッターやナイフを使った作業もあるが、子ども達は目を輝かせものづくりの喜びを感じている様子
- ・スクラッチのプログラミング基礎を取得し、今後プログラミングの授業で当会がどのように支援できるかを検討できた
- ・今年度は大谷溪谷周辺の大谷ダム、瓢箪池、棚田の跡を中心に整備した。ハイキングコースの憩いの場とできるよう今後も引き続き実施したい

**活動現場レポート！** 子ども用プログラミング「スクラッチ」第1回学習会(H29.7.5/ほしらんどくだまつ)

この日は、会員の他、教員ら約10人が参加され、講師から必要な機材やプログラミングソフト(スクラッチ等)の説明を受けた後、実技を行われました。

初めて耳にする言葉に悪戦苦闘しながらも、隣の人と教え合ったり、講師に聞きながら操作し、スクラッチの概要や使い方を習得されました。

今後は学校と連携しながら、学習会を繰り返し行い、子ども達の学習の支援につなげていきたいとのこと。

子ども達が、プログラミングを楽しみながら学ぶことができるよう、真剣に知識や技術の研鑽に励まれている姿が印象的でした。

\*スクラッチアメリカのマサチューセッツ工科大学(MIT)のメディアラボが開発したプログラミング学習用ソフト



真剣に学ぶ参加者